

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公開番号】特開2010-128423(P2010-128423A)

【公開日】平成22年6月10日 (2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2010-023

【出願番号】特願2008-306049(P2008-306049)

【国際特許分類】

G 0 2 B 1/10 (2006.01)

G 0 2 B 1/11 (2006.01)

G 0 2 C 7/00 (2006.01)

G 0 2 C 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 1/10 Z

G 0 2 B 1/10 A

G 0 2 C 7/00

G 0 2 C 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月22日 (2011.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学基材と、

前記光学基材の表面に積層された機能層とを有し、

前記機能層の厚み  $T \mu m$  が以下の条件を満たす、光学物品。

$$6.5dn + 4.0 < T < 100$$

ただし、厚み  $T$  は  $5 \mu m$  より大きく、 $dn$  は前記光学基材と前記機能層との境界における屈折率差であり、以下の条件を満たす。

$$0.06 < dn < 0.4$$

【請求項 2】

請求項 1 において、

さらに、前記機能層の厚み  $T$  が以下の条件を満たす、光学物品。

$$10.4dn + 4.0 < T < 100$$

【請求項 3】

請求項 2 において、

さらに、前記機能層の厚み  $T$  が以下の条件を満たす、光学物品。

$$18.7dn + 4.2 < T < 100$$

【請求項 4】

請求項 3 において、

さらに、前記機能層の厚み  $T$  が以下の条件を満たす、光学物品。

$$28.7dn + 4.3 < T < 100$$

【請求項 5】

請求項 4 において、

さらに、前記機能層の厚み  $T$  が以下の条件を満たす、光学物品。

$$3.5 \leq dn + 4 \leq 4 \quad T \leq 100$$

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれかにおいて、  
前記機能層の厚み  $T$  は  $50 \mu m$  以下である、光学物品。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれかにおいて、  
前記機能層はハードコート層を含む、光学物品。

【請求項 8】

プラスチックレンズ基材と、  
前記プラスチックレンズ基材の表面に積層された機能層と、  
を含む眼鏡レンズと、  
前記眼鏡レンズが装着されたフレームと、を含み、  
前記機能層の厚み  $T \mu m$  が以下の条件を満たす、眼鏡。

$$6 \leq dn + 4 \leq 0 \quad T \leq 100$$

ただし、厚み  $T$  は  $5 \mu m$  より大きく、 $dn$  は前記光学基材と前記機能層との境界における屈折率差であり、以下の条件を満たす。

$$0.06 \leq dn \leq 0.4$$